

【ご参考資料】

2022年6月15日

6月14日の弊社ファンドの基準価額下落について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2022年6月14日、弊社運用ファンドの一部において、基準価額が前日比で5%超下落しました。以下に該当ファンドおよび基準価額の下落要因についてお知らせいたします。

1. 2022年6月14日時点で基準価額が前日比で5%超下落した公募投資信託

ファンド名	基準価額	前日比	前日比騰落率
野村北米REIT投信（メキシコペソコース）年2回決算型	15,923円	-1,182円	-6.9%
野村北米REIT投信（メキシコペソコース）毎月分配型	11,313円	-835円	-6.9%
野村クラウド関連株式投信 Bコース（為替ヘッジなし）	30,300円	-2,236円	-6.9%
野村北米REIT投信（ブラジルリアルコース）年2回決算型	23,867円	-1,724円	-6.7%
野村北米REIT投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型	5,541円	-400円	-6.7%
野村米国ブランド株投資（資源国通貨コース）年2回決算型	32,754円	-2,259円	-6.5%
野村米国ブランド株投資（資源国通貨コース）毎月分配型	16,866円	-1,141円	-6.3%
野村クラウド関連株式投信 Aコース（為替ヘッジあり）	19,650円	-1,321円	-6.3%
野村北米REIT投信（豪ドルコース）年2回決算型	29,570円	-1,891円	-6.0%
野村北米REIT投信（豪ドルコース）毎月分配型	10,042円	-639円	-6.0%
野村日本ブランド株投資（南アフリカランドコース）毎月分配型	16,126円	-1,011円	-5.9%
野村ACIハイインカムREITファンド（為替ヘッジあり）毎月分配型	11,048円	-692円	-5.9%
野村日本ブランド株投資（南アフリカランドコース）年2回決算型	36,408円	-2,251円	-5.8%
野村世界業種別投資シリーズ（世界半導体株投資）	62,251円	-3,821円	-5.8%
野村北米REIT投信（南アフリカランドコース）年2回決算型	24,607円	-1,503円	-5.8%
野村北米REIT投信（南アフリカランドコース）毎月分配型	8,418円	-513円	-5.7%
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）毎月分配型	6,997円	-424円	-5.7%
野村グローバルAI関連株式ファンド Bコース	14,083円	-838円	-5.6%
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）年2回決算型	25,919円	-1,479円	-5.4%
米国エネルギー革命関連ファンド（年1回決算型）為替ヘッジあり	9,027円	-509円	-5.3%
米国エネルギー革命関連ファンド Aコース（為替ヘッジあり）	6,072円	-342円	-5.3%
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型	4,042円	-221円	-5.2%
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）年2回決算型	19,132円	-1,045円	-5.2%
野村世界REITファンドBコース（野村SMA向け）	28,761円	-1,546円	-5.1%
米国NASDAQオープンBコース	20,281円	-1,090円	-5.1%
野村インデックスファンド・外国REIT	32,896円	-1,767円	-5.1%
野村グローバルREITプレミアム（通貨セレクトコース）毎月分配型	7,019円	-376円	-5.1%
野村グローバルREITプレミアム（通貨セレクトコース）年2回決算型	19,424円	-1,039円	-5.1%
ノムラ THE USA Aコース	14,873円	-794円	-5.1%
野村世界REITファンド Bコース（野村SMA・EW向け）	14,317円	-764円	-5.1%

- ・ 基準価額は、分配落ち前の価額を掲載しています。
- ・ 騰落率は、収益分配金（課税前）を分配時にファンドへ再投資したものと計算した騰落率です。
- ・ 当資料でお知らせする「基準価額5%超下落」の基準は、ファンドの騰落率が5%以上の下落が該当し、小数点以下を四捨五入して5%の下落となる場合は含んでおりません。
- ・ ファンドによって、投資対象市場の基準価額への反映タイミングが異なります。
- ・ 公募投資信託のうち、DC（確定拠出年金）、ETF（上場投資信託）、投資信託協会分類の特殊型（ブルーベア型）ファンドは除外しております。
- ・ ファンド名は約款に準じており、HPの表記と必ずしも一致するとは限りません。

当資料は参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込いただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

【ご参考資料】

2. 主な市場動向について

	6月9日	6月10日	6月13日	6月14日	9日から10日 の騰落率	10日から13日 の騰落率	13日から14日 の騰落率
日経平均株価	28,246.53	27,824.29	26,987.44	26,629.86	-1.5%	-3.0%	-1.3%
NYダウ工業株30種	32,272.79	31,392.79	30,516.74	30,364.83	-2.7%	-2.8%	-0.5%
MSCIコクサイ・インデックス	2,812.01	2,726.18	2,623.64	2,605.85	-3.1%	-3.8%	-0.7%
MSCIエマージング・インデックス	1,067.15	1,054.64	1,016.46	1,017.87	-1.2%	-3.6%	0.1%
FTSE NAREIT 全REIT インデックス	234.94	229.88	218.12	215.94	-2.2%	-5.1%	-1.0%
東証REIT指数	2,024.09	2,007.74	1,990.26	1,938.36	-0.8%	-0.9%	-2.6%
MSCI ワールド 情報技術	432.42	415.26	396.12	397.43	-4.0%	-4.6%	0.3%

(出所) Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成
(注) 市場の休日等の場合は前日の値を使用

為替 (対円レート、投資信託協会)	6月9日	6月10日	6月13日	6月14日	9日から10日 の騰落率	10日から13日 の騰落率	13日から14日 の騰落率
米ドル(円/米ドル)	134.46	134.22	135.00	134.13	-0.2%	0.6%	-0.6%
ユーロ(円/ユーロ)	144.03	142.54	141.48	139.78	-1.0%	-0.7%	-1.2%
メキシコペソ(円/メキシコペソ)	6.86	6.83	6.73	6.55	-0.5%	-1.5%	-2.6%
ブラジルレアル(円/ブラジルレアル)	27.44	27.35	27.07	26.21	-0.3%	-1.0%	-3.2%
豪ドル(円/豪ドル)	96.60	95.19	94.62	93.15	-1.5%	-0.6%	-1.6%
南アフリカランド(円/南アフリカランド)	8.80	8.68	8.45	8.37	-1.4%	-2.6%	-0.9%

(注) 為替についてはNDF(ノン・デリバラブル・フォワード)取引を用いているコースもあり、必ずしも上記の為替レートの変動と一致しない場合があります。

6月10日に発表された5月の米CPI(消費者物価指数)が市場予想以上の伸びとなり、インフレ感の後退、FRB(米連邦準備制度理事会)による利上げがさらに加速するとの観測が再燃しました。また、同日発表の6月の米シガン大学消費者信頼感指数が過去最低水準に落ち込むなど、米景気悪化の兆候が見られました。

さらに、週明けの13日には、米ウォール・ストリート・ジャーナル誌が、14~15日開催予定のFOMC(米連邦公開市場委員会)で0.75%の大幅利上げの可能性を予想するなど、利上げ加速への警戒が一層高まりました。利上げの加速は米景気を冷やすとの警戒が高まり、10日と13日の米国株式市場が連日の大幅安となったほか、リスク資産の一角であるREITや米国ハイ・イールド債券も軟調に推移、そして、景気後退に伴い資源需要が減少するとの懸念も広がり、エネルギー関連株や、豪ドルやブラジルレアル、メキシコペソ、南アフリカランドといった資源国通貨が大幅安しました。

以上

当資料は参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申じいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

【ご参考資料】

野村アセットマネジメントからのお知らせ

■ご注意

下記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、野村アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、投資家の皆様にご負担いただく、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をご覧ください。

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価格が変動します。したがって投資家の皆様のご投資された金額を下回り損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■投資信託に係る費用について

以下の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

2022年6月現在

ご購入時手数料 《上限3.85%（税込み）》	投資家が投資信託のご購入のお申込みをする際に負担する費用です。販売会社が販売に係る費用として受け取ります。手数料率等については、投資信託の販売会社に確認する必要があります。 投資信託によっては、換金時（および償還時）に「ご換金時手数料」等がかかる場合もあります。
運用管理費用（信託報酬） 《上限2.222%（税込み）》	投資家はその投資信託を保有する期間に応じてかかる費用です。委託会社は運用に対する報酬として、受託会社は信託財産の保管・管理の費用として、販売会社は収益分配金や償還金の取扱事務費用や運用報告書の発送費用等として、それぞれ按分して受け取ります。 *一部のファンドについては、運用実績に応じて報酬が別途かかる場合があります。 *ファンド・オブ・ファンズの場合は、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
信託財産留保額 《上限0.5%》	投資家が投資信託をご換金する際等に負担します。投資家の換金等によって信託財産内で発生するコストをその投資家自身が負担する趣旨で設けられています。
その他の費用	上記の他に、「組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料」、「ファンドに関する租税」、「監査費用」、「外国での資産の保管等に要する諸費用」等、保有する期間等に応じてご負担いただく費用があります。運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください、ご自身でご判断下さい。

商号：野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第373号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会／
 一般社団法人日本投資顧問業協会／
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

当資料は参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込んだくにあたっては、販売会社よりお渡する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

皆様の投資判断に関する留意事項

【投資信託のリスク】

投資信託は、株式や公社債など値動きのある証券等（外貨建資産に投資する場合は為替リスクがあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。従って、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた損益は、すべて投資者の皆様に帰属します。

【留意事項】

- ・ 投資信託のお取引に関しては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- ・ 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- ・ 投資信託の収益分配は、各ファンドの分配方針に基づいて行われますが、必ず分配を行うものではなく、また、分配金の金額も確定したものではありません。分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

【お客様にご負担いただく費用】

■お客様が購入時に直接的に負担する費用

購入時手数料：購入価額 × 購入口数 × 上限 3.85%（税抜 3.5%）

■お客様が換金時に直接的に負担する費用

換金時手数料：公社債投信 1 万口当たり上限 110 円（税抜 100 円） ※その他の投資信託にはありません

信託財産留保額：換金時に適用される基準価額 × 0.5%以内

※T&D「Jリートファンド」限定追加型 1402」（当初申込時無手数料）についてはご換金時期により信託財産留保額 3.0%～0.5%（2021 年 6 月 1 日以降は無料）をご負担いただきます。

■お客様が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）の実質的な負担：純資産総額×実質上限年率 2.618%（税抜 2.38%）

※実質的な負担とは、ファンドの投資対象が投資信託証券の場合、その投資信託証券の信託報酬を含めた報酬のことをいいます。なお、実質的な運用管理費用（信託報酬）は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。

その他の費用

※上記の他に、組入有価証券等の売買に係る売買委託手数料、監査費用、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を投資信託財産から間接的にご負担いただく場合があります。これらの費用・手数料等は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。

- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額若しくはその上限額又はこれらの計算方法を示すことはできません。
- 上記のリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。各費用項目の料率は、販売会社である香川証券株式会社が取扱うすべての公募投資信託のうち、最高の料率を記載しております。投資信託のリスクや費用は、個別の投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に、個別の投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」の【投資リスク、手続・手数料等】をご確認ください。

【香川証券株式会社】

商号等 香川証券株式会社

登録 金融商品取引業者 四国財務局長（金商）第 3 号

加入協会 日本証券業協会